

インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年9月22日聖日礼拝

「詩編23篇を思いめぐらす」

詩編23篇 1 - 6 節

河村従彦 牧師



聖書朗読

旧約聖書

詩編23篇 1 – 6 節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp849~/ 第三版の聖書はp926~

- 1 主は私の羊飼いです。私は、乏しいことがありません。
- 2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。
- 3 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。
- 4 たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。

- 5 私の敵の前で、あなたは私のために
食事をととのえ、私の頭に油をそそいで
くださいます。私の杯は、あふれています。
- 6 まことに、私のいのちの日の限り、
いつくしみと恵みとが、私を追って来る
でしょう。私は、いつまでも、主の家に
住まいましょう。

説 教

「詩編23篇を思いめぐらす」

詩編23篇 1～6節

河村従彦 牧師



詩篇23篇の構造 →背景に二つのイメージ

前半 牧者のイメージ

後半 客をもてなす主人のイメージ

I 人生の特徴 ～乏しいことがない

A 最初の印象と現実

- 1 豊かな祝福
- 2 現実との関わり
- 3 いくつかのとらえ方

B 聖書のみことば

「欠けがない」というニュアンス

C ヘブル社会の理解

1 厳しい環境

2 旧約は遊牧民の世界

D 逆の視点からの警戒

望むものの全部を手にした時に人間は
幸せではない？

まとめ

人の幸せは、
目に見える形のほしいものを手にすること
だけにあるのではなく、
実に絶妙なところで、わたしたちが滅びない
ように守られ、
また本当の意味で祝福を受けることができる
線がある。

II 人生の実際 ～いこいの水のほとり

A 「水」の意味

- 1 積極的イメージ ～生活・生命維持
に欠かせない
- 2 消極的イメージ ～生命を奪うこと
もある

B わたしたちの実際

- 1 自然界の力
- 2 人間の現実と弱さ
- 3 信仰者の可能性

III 人生の根本 ～死の陰の谷

A 意味

B 人間だけの特別な機能

C 主が共に歩いてくださる

D 存在を揺るがす問題

しめくくり 新約の時代のイメージ

A 羊飼いであらわれる神さま

- 1 羊を名前で呼ぶ方
- 2 いのちを贖う方

B 委ねることの意味